



ひろたごいひ 広田御祝を披露した青笹町地域婦人団体協議会

令和5年度歳末助け合い演芸大会 12月10日

## 踊りや演奏に笑顔あふれる

歳末助け合い演芸大会(遠野市地域婦人団体協議会主催)が市民センター大ホールで開催され、市民ら約370人が来場しました。各町婦人団体や市民サークル、特別出演者の多田市長など15団体が踊りや演奏などを披露。ユーモアあふれる多彩な演目を楽しみました。佐々木ミヨ子さん(青笹町)は、「毎年楽しみにしている。ここでしか見られない演目ばかりでもおもしろかった」と満喫した表情を見せました。



多くの人が訪れ、イルミネーションを楽しんだ

「サンQふる郷市場」クリスマスイベント 12月16日

## イルミネーションの点灯に歓声

同イベントがサンQふる郷市場で行われ、地域住民ら約80人が参加しました。旧宮守村棚田振興協議会や鹿込農家組合など7団体が協働で開催。子どもと大人が協力し、建物や柵などに電球を飾り付けました。日没後は点灯式を開催。青い光が周囲を照らすと会場からは歓声が上がりました。菊池望亜さん(宮守小5年)は、「高い場所も頑張って飾り付けた。すごくきれい」と目を輝かせました。



薬物の危険性を訴えた井手会長

遠野西中「薬物乱用防止教室」 12月18日

## STOP! 薬物乱用

同教室が遠野西中(菊池一洋校長)で開かれ、全校生徒99人が参加しました。青少年健全育成事業の一環として遠野ライオンズクラブが開催。井手英子さん(同クラブ会長)が、麻薬や覚せい剤による▷意識・記憶障害▷幻覚▷精神・身体依存—などの危険性を力説し、自分を守る方法を伝えました。木村遙さん(2年)は、「友人に薬物の使用を誘われても断る勇気を持ちたい」と力強く話しました。



講師の解説を聞き、問題の解き方を学んだ

「遠野市公営塾冬期講習会」 12月23・24日

## 子どもの学習支える公営塾始動

中学生の学習支援を目的とする公営塾冬期講習会が、青笹地区センターとみやもりホールで開催されました。市内の中学3年生40人が参加。英語と数学を重点的に学習し、高校入試の対策をしました。市教育委員会の佐々木一人教育長は、「今後は、公営塾の対象を小学校高学年から高校生まで拡大する方針。塾での学習を通じて、遠野の子どもの学力向上を目指したい」と強調しました。

11月24日 林業の仕事紹介

## 将来の担い手が林業について学ぶ

林業への関心と進路選択のきっかけを目的に、林業の仕事紹介が遠野地方森林組合の生産現場(青笹町)などで行われました。遠野緑峰高(高橋堅校長、115人)の生産科学コース2年生28人を対象に開催。生産現場の見学や高性能林業機械の操作体験などを通じて、林業分野の仕事を学びました。鴨谷結里花さんは、「丸太をつかむことが難しかったけれど、林業の仕事を知ることができた」と声を弾ませました。



高性能林業機械「グラップル」を職員と一緒に操作した

12月2日 第23回遠野どべっこ祭り

## 見て、聞いて、味わった遠野の魅力

どべっこ祭りは遠野ふるさと村で開かれ、県内外から32人が参加。できたての特製生どぶろくと郷土料理を堪能しました。語り部の昔話や神楽の披露などの催しも開催。遠野の魅力を見て、聞いて、味わえるイベントを満喫しました。大久保勇磨さん(福岡県)は、「郷土芸能や料理、昔話などから遠野の文化や歴史を感じられた。どぶろくも甘くておいしかったです」と頬を緩めました。



八幡神楽のほら貝を吹く体験も行われ、会場は笑顔であふれた

12月2日 第21回ハートフルステージ

## 人権の大切さ、音楽や声で伝える

ハートフルステージはあえりあ遠野中ホールで開かれ、市民ら130人が参加しました。小中学生や市民サークルなどが、▷人権作文▷わたしの主張▷子ども語り部▷ピアノ演奏—などを披露。誰もが等しく持っている人権の大切さを伝えました。佐々木昭子さん(上郷町)は、「歌やピアノなどを通じて、心が豊かになった。人権の大切さを改めて考える機会になりました」と思いを語りました。



YOASOBIの「ツバメ」に合わせて手話を披露した附馬牛児童館の児童

12月6日 米の収穫祭

## 青小5年生がおいしい餅を堪能

収穫祭が青笹地区センターで開かれ、青笹小(鈴木久美子校長、132人)5年生18人が餅づくり体験をしました。同校で取り組む米作り学習を後押ししようと、上閉伊酒造や老人クラブなどが協力して実施。今年収穫した米で餅つきし、試食を通じて食の理解を深めました。菊池心温さんは、「農業や食の大切さを教わったので、これから一粒も残さずご飯を食べたい」と笑みを広げました。



みんなでついた餅の感触を確認する児童たち